

番号	意見内容	市の考え方
1	<p>1 分析や解析はたくさんあるが、一体具体的に何をやるのかが極めて分かりにくい資料となっている。</p> <p>2 過去10年の第2次住宅マスタープランの実施状況を見ても、具体的な成果は少ないように見受けられます。実績をもっと具体的に書いてほしい。</p> <p>3 空き家対策は重要と思うが、例えば 第2次住宅マスタープランの実施状況で、「未実施 空き家の実態調査は実施したが、2009(平成21)年度に委嘱した住宅政策アドバイザーから運用方法の問題や効果が期待できないなどの意見がでたため。」とあるが、計画時に予測できなかったのか？ あるいは、2009年度以降、何か修正をしようとしたのか？ など疑問が残る。</p> <p>4 マスタープランとはいえ資料には、1, 2ページで目的と項目、それぞれの項目にどういう時間軸で具体的に何をやるのかの要点は明記してほしい。</p>	<p>本プランは、上位計画である国と神奈川県「住生活基本計画」を踏まえ、住宅施策の基本的な方針を示したものとなっております。</p> <p>当初の数値目標等はありませんでしたが、実施したものについては、可能な限り実施状況を記載しております。</p> <p>ご指摘いただいた、資料4第2次鎌倉市住宅マスタープラン重点施策の実施状況の「定期借家制度の活用による空家住宅の提供」につきましては、記載内容を修正いたします。</p> <p>本プランは、上位計画である国と神奈川県「住生活基本計画」を踏まえ、住宅政策推進の方針を示したものであるため、個別の取組については、計画の進行管理を行う中で進捗状況の把握を行ってまいります。</p> <p>ご意見いただきました内容については、今後の計画策定の際の参考とさせていただきます。</p>

<p>2</p>	<p>第2次住宅マスタープランの実施状況を見ると、未実施等がありうまく推進しているとは思えない。 意欲的な目標を立てていますがまだまだである。 私は下記施策について意見を述べる。</p> <p>1 深沢地域整備事業による良質な住宅・住環境の確保について、深沢地域には、市役所を移転を考えるべきである。 (理由) (1) 市役所の補強・建直しより新築移転は費用が少ない。 (2) 現在の市役所跡地は1階はテナントに賃貸する。同地は「稼げる場所」であり・「駅西を発展させる場所」にすべきである。 ただ、2階以上は、支所や建直しが見込まれる中央図書館の他、保育園・幼稚園・学生用勉強スペース等を設置し、公共施設を設置する。 そうすることにより、鎌倉市の収入を増やすとともに、鎌倉駅西口の魅力を倍加出来る。 中央図書館や福祉センターのリニューアル、その跡地利用も同様である。 (3) 経営が芳しくないモノレールが蘇る。 このことは、江ノ島等への観光客の利便のみならず、モノレールが無くなれば深沢や西鎌倉、腰越、片瀬等の住人の足の便がバス・江ノ電しかなくなり、私用車の通行が増え混雑が増すと思われる。 (4) 深沢の市有地それ以上あれば、スポーツ施設や公園にすればと思う。</p>	<p>ご意見をいただいた「深沢地域整備事業による良質な住宅・住環境の確保について、深沢地域には、市役所を移転を考えるべきです。」との部分につきましては、公共施設再編担当及び深沢地域整備事業に対するご意見として、担当部署に情報提供をさせていただきます。</p>
	<p>2 空家対策について固定資産税の評価見直しを国や県に強力に働きかけるべきです。 また、町内会・自治会等地域コミュニティとの連携を強化すべきです。 (理由) (1) 特に危険な空家は地域の景観や安全に直結する問題です。 (2) 火災や人命に危害が及ぶ可能性があり、地域事態を壊すものだからです。 (3) 一個人の節税の問題に矮小してはいけません。 (4) 国や県に強力な法整備を働きかけるべきです。</p>	<p>ご指摘の「固定資産税の評価見直し」との部分につきましては、総務省よる地方税法に基づく事務の取扱いに係る通知に関連したものとされます。 当該部分につきましては、税收の確保に関する固定資産の評価に対するご意見として、担当部署に伝させていただきます。 また、空き家等の対策の取組についていただいたご意見の内容につきましては、担当部署に情報提供し、対策を実施していく上での参考にさせていただきます。</p>
	<p>3 町内会・自治会が「地域を良くするため」もっと活発になるよう、支援すべきである。 時間に余裕のある高齢者を活用する仕組みを考えるべきである。 若い世代が住みやすい鎌倉を作るのに、高齢者が汗をかく仕組みをぜひ考え作ってほしい。 そして、住宅マスタープランをスピード感をもって推進してほしい。</p>	<p>ご意見いただいた内容につきましては、今後計画推進にあたり考慮させていただきます。</p>

<p>3</p>	<p>新鎌倉山住宅地に居住し40数年経つ。2002年度に、地域のことに取り組み始め、現在に至っている。</p> <p>住宅地の最初の課題は、当時、約1割あった空き地問題ですが、ここ数十年でかなり減少した。</p> <p>次の課題は、ご多分に漏れず、空家問題。西鎌倉地区の新興住宅地の中では、少ない方だが、徐々に増加している。また、一人生活の高齢者も増加している。昼の防犯パトロールでは、空家に注目し、夜のパトロールでは、一人住まいの方の安否確認(電燈がちゃんと燈っているかという程度ですが)を気にしながら行っている。</p> <p>膨大な市の素案では、軽く述べられている(?)課題に過ぎないが、新興住宅地に居住する一人として、空家というこの課題に、もう少し焦点を当ててもらいたい。</p>	<p>ご指摘いただいた内容については、本プランにおいても大きな課題として捉えております。</p> <p>本プランでは、第4章4-1人からの視点の「目標1ライフステージに応じた住生活の実現(2)高齢者が安心して暮らすことができる」及び「目標2住宅確保要配慮者の居住の安定確保(1)民間住宅を活用した住宅セーフティネット」並びに「目標4空き家の適切な管理と利活用の促進」に定めている取組を推進し、地域の皆様や福祉関連団体の皆様と一体となって、この課題に取り組んでまいります。</p>
<p>4</p>	<p>そんなに空家あるなら保育園用地にしてほしい。保育園と園バスが止められるようなステーション園を作ってほしい。</p> <p>学習センターも今ぎっちりなので、市民が使える集会所兼保育室でもいい。</p> <p>介護、片親世帯、健康福祉への増進施設や公共施設はいいが、</p> <p>これ以上、相続対策や金儲け目的の単独マンションやアパートは増やさないでほしい。</p> <p>最終的には市民生活の破壊へと繋がっていく。</p> <p>戸建ては戸建てで中古利用、あるいは新築にする。どうしてもマンションにするならファミリー用物件にする。あるいはシェアハウス、民宿、ホテル、お店にしてほしい。</p> <p>例えば、ケアする人、身寄りのない子供やお年寄りが一緒に住む小規模グループホームもいいと思う。</p>	<p>空き家の利活用についての本市の考え方は、本プランの第4章4-2住宅からの視点「目標4空き家の適切な管理と利活用の促進」に示しております。</p> <p>いただいたご意見については、法令等を遵守した上で、空き家をどのように利活用できるかについて検討する際の参考とさせていただきます。</p> <p>なお、保育園用地等のご提案については、関連部署に情報提供させていただきます。</p>

5	<p>P47 ③ 高齢者の居住安定のための総合的な施策の推進(新)とありますが、これに障害者が入っていない。 国交省で議論されている対象が高齢者・障害者なので、障害者は対象となっていないのは不十分だと思う。 障害者を含め総合的な施策の推進を切に望む。</p> <p>P54 目標5 人と人とのつながりを育む住まい・住まい方の実現 人と人とのつながりを育む地域共生社会に向けた住まいの・住まい方の実現</p> <p>変更理由:これからの地域生活のキーワードは障害のある人もない人も高齢者も共に生きることができる共生社会の実現であり、多世代交流はその一つに過ぎない。 従って「地域共生社会に向けた」を挿入したほうがいいと思う。</p>	<p>第4章4-1人からの視点では、ライフステージ(年齢)をテーマとした住宅施策をまとめた「目標1ライフステージに応じた住生活の実現」と高齢者や障害者、子育て世帯等の住宅確保要配慮者をテーマとした住宅施策をまとめた「目標2住宅確保要配慮者の居住の安定確保」で構成されており、ご意見をいただいた内容については、目標2の中で推進してまいります。</p> <p>本プランの策定においては、今後、国や県と協力して本市の住宅施策の推進に取り組むための指針となるよう、国や県の住生活基本計画を踏まえております。</p> <p>この国県の計画の目標を踏まえ、本プランの基本理念は「多世代が豊かに暮らし、ともに育む緑と歴史文化の都市 鎌倉」としており、子どもから高齢者まで多様な世代が住むことができる地域を形成する住宅ストックを形成することを基本とし、地域住民との協働により、よりよい住環境を育んでいくことを目指しております。</p> <p>ご意見いただきました内容については、今後計画推進に当たって考慮させていただきます。</p>
	<p>その観点から、(1)身近な地域での魅力ある住環境づくりの支援の 「子どもから高齢者までの多世代」を「高齢者、障害者、子ども等を分け隔てなく」とし 「気軽に行き来できる範囲の地域に住み」とつなげて「子育てや高齢者のケアなどを」を削除し お互いに支え、助け合いにつなげ 誰もがいきいきとくらすことができる「多世代交流」を また、助け合い、誰もがいきいきとくらすことができ「地域共生社会」の推進を図ります。 とした方がいいと思われる。</p> <p>取組み 多世代交流による地域コミュニティの形成 を「多世代交流による」を削除し単に「地域コミュニティの形成」でいい。 また、行政と地域が協働して取り組んだ「世代間交流による」を削除し行政と地域が協働して取り組んだ地域コミュニティの活性化とつなげた方がいいと思われる。</p>	

<p>6</p>	<p>鎌倉市の高齢者率の向上と人口減の対策として 魅力ある自然環境への若年層の勧誘PRが必要だと思う。 (PRは主に鎌倉住民以外を対象に流しては!)</p> <p>1. 住宅団地の中で土地の分譲住宅を禁止している自治会が多いので、条件付き土地の分譲を60坪以上であれば認可するとか。 そうしないと若年層には住宅に対する投資は難しくなる 又 売買先は若年層に制限する(出来るだけ投機目的者や不動産会社には売らない?)。</p> <p>2. 増える空き家の利用は 子育ての若年層に利用しやすい制度を設けてほしい。特に鎌倉市以外でアパート等の賃貸住宅、アパートを利用している層に 同賃貸料で戸建空き家に住んでもらい、子供の教育にも良い。 家賃が家主の希望価格にそわない場合は差額は市が負担するか、固定資産税の優遇とか、空き家の修理費用補助金制度を設ける。</p>	<p>ご提案いただいた内容については、本プランの第4章の人からの視点「目標1ライフステージに応じた住生活の実現(1)若年層の鎌倉での暮らしを支える」及び鎌倉らしさからの視点「目標7鎌倉らしい、環境にやさしく魅力ある住宅地の維持・向上(3)暮らしやすい環境の整備」の施策の推進に当って考慮させていただきます。</p>
----------	--	---